

部局名	生涯学習部	所属名	生涯学習振興課	所属長名	鈴木 秀樹	電 話	481-0309
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		4057		事務事業名称		生涯学習振興事業					短縮コード		経常	4057	臨時	4058	
予算区分		会計	01	一般会計		款	10	教育費		項	05	社会教育費		目	08	生涯学習振興費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市生涯学習審議会条例、八千代市生涯学習審議会条例施行規則、八千代市生涯学習推進本部設置規程、八千代市生涯学習基本構想、八千代市生涯学習推進計画									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
1) ホームページによる学習情報の提供（平成15年度より市民からの要望により開始。） 2) まちづくりふれあい講座（平成8年度より生涯学習振興事業の一つとして開始。市の職員を講師として市民グループの学習の場に派遣している。） 3) 市内大学公開講座の支援（平成元年より八千代市大学機能の地域開放促進事業として開始。広報等での周知等を行っている。） 4) 高齢者学習グループの支援（ふれあい大学のOB等を高齢者学習グループとして登録し、施設の使用料の減免等を行う。） 5) ふれあい教室（昭和58年より高齢者活力地域還元事業として開始。その後平成6年度より指導者の枠を高齢者に限ることをやめ、名称も「市民活力地域還元事業」と改めた。事業概要は、生涯学習振興課に登録された各種ボランティア指導者と指導を希望する団体との仲介。） 6) 生涯学習ボランティアバンク制度（平成21年1月開始。誰かに何かを教えたい方をボランティア指導者として市に登録し誰かに何かを教わりたい方に紹介する制度。）																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）		02	人間尊重都市をめざして							
人口の増加、高齢化の進行、また、団塊世代の大量退職に伴う余暇時間の増大により生涯学習に対する関心は益々高まり、生涯学習のニーズは増え、今後もこの傾向は続く予想される。							大項目（節）		02	生涯学習							
							中 項 目		01	生涯学習							
							小項目（施策）		01	生涯学習推進体制の充実							
									02	生涯学習機会の拡充							
							細 項 目		02	学習相談体制の充実							
									02	生涯学習ボランティアの育成・支援							
						実施計画の計画事業		2201	第2次八千代市生涯学習基本構想・推進計画の策定								
								2202	生涯学習ボランティアバンク整備事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成23年3月				計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市民（生涯学習情報の提供等）／・市内在住・在勤・在学している10名以上の団体やグループ等（まちづくりふれあい講座）／・大学公開講座／・ふれあい大学OB等高齢者（高齢者学習グループの支援）／・市内各小中学校児童、幼稚園・保育園・学童保育所の児童、公民館やPTA等の団体等（ふれあい教室）						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 1) ホームページによる学習情報の提供、2) まちづくりふれあい講座（職員による出前講座）の実施、3) 市内大学公開講座の支援、4) 高齢者学習グループの支援、5) ふれあい教室（ボランティア指導者と指導希望団体との仲介）の実施、6) 生涯学習審議会の開催、7) 生涯学習ボランティアバンク制度策定						
	※平成21年度に計画していること： 1) ホームページによる学習情報の提供、2) まちづくりふれあい講座（職員による出前講座）の実施、3) 市内大学公開講座の支援、4) 高齢者学習グループの支援、5) ふれあい教室（ボランティア指導者と指導希望団体との仲介）の実施、6) 生涯学習審議会の開催、7) 生涯学習ボランティアバンク制度（ボランティア指導者登録の受付と利用希望者への仲介）の運営、8) 第2次八千代市生涯学習基本構想策定に向けた調査・研究等						
意図 （何を狙っているのか）	生涯学習に関する情報を提供することによって、市民の生涯学習への興味や意識を高める。また、高まった生涯学習に対する意欲を、場所や人材の提供等で支援し、生涯学習の輪を広げることによって、地域の教育力を高めていく。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	全市民（3月末現在）	人	188, 624	191, 000	191, 469	194, 000
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	各事業利用者数	人	32, 170	32, 500	34, 435	34, 500
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	各事業利用者数の市民に対する割合	%	17	17. 1	18	18. 1
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	4057	事務事業名称	生涯学習振興事業				所属名	生涯学習振興課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			まちづくりふれあい講座やふれあい教室については、引き続きFAX等簡便な方法による申請書や報告書の提出を促す。このことによって、利用者の利便性を向上させ、利用の促進を図る。 大学公開講座や生涯学習ボランティアバンク制度については、市ホームページや「まなびネットやちよ」に情報を積極的に掲載する。このことによって、情報を広く伝え、利用者の拡大を図る。 各事業を進めるにあたっては、Eメールを積極的に利用し、業務の効率化を図る。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			FAXやEメール、インターネット等の活用によって業務の効率化を図り、また、ボランティアの協力を得て事業内容を充実させるため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
1) まちづくりふれあい講座 新規講座メニューの追加要望 2) ふれあい教室 ボランティア指導者の数の確保 等									

所属長コメント	生涯学習ボランティアバンク制度については、新規事業であることから内容充実のため、今後さらに市民へのPRが必要である。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，課題なく推進可能なことは順次推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									